

2016年9月15日(木)にエフエムたいはく(78.9MHz/宮城県仙台市)で放送された「じょぶネタ!ワン・タイム・トーク」の文字起こし原稿です。実際の記事・動画・音声については [http://jobneta.sasamedia.net/2016-0915\\_honda-hidayuki/](http://jobneta.sasamedia.net/2016-0915_honda-hidayuki/) をご覧ください。

## 笹崎久美子、佐藤好彦・じょぶネタ!ワン・タイム・トーク 2016

ゲスト：本田秀行さん

メンバー

笹崎久美子 佐藤好彦 本田秀行

(01:30)

笹崎：今日は仙台市太白区長町3丁目のFM太白のスタジオから今日は収録をお届けします。はい改めましてこんばんは。

佐藤：こんばんは。

笹崎：今日は収録ということなんですけれども、先ほどお話したように男子2人もいいんだけど今日は、ゲストさんも男子ですよ。

佐藤：そうですね。

笹崎：はい、では早速ご紹介いたします。MBIコンサルティング株式会社代表取締役の本田秀行さんです。こんばんは。

本田：こんばんは。よろしくお願ひいたします。

笹崎：よろしくお願ひいたします。私たち3人は何度かお目にかかっている、しかもタタ君こと好彦さんもさっき親分なんておっしゃってたんですけれども、どの部分が親分なんですか？

(笑い声)

佐藤：いや、親分ってあの、ミッドバックっていうね。

本田：あ、えーとですね、あの私ITコーディネーターっていう資格で仕事をしているんですけれども。

笹崎：はい。

本田：同じようなITコーディネーターだったり、あるいは社労士さんだったり、

笹崎：ええ。

本田：税理士さんだったり、会計士さんだったりというプロフェッショナルの資格を持っている人が集まって、社団法人を作ってるんですね。

笹崎：はい

本田：その中のメンバーとして、佐藤さんにも加わっていただいているということです。

笹崎：そういうことなんですね、それを取りまとめてらっしゃるのが本田さん。

佐藤：そういうことなんです。

笹崎：あの、番組始まる前にお名刺を2枚頂戴してるんですけれども、一つがその、一般社団法人みちのくIT系支援センター。

本田：はい。

笹崎：これが、親分の話ですね？

(03:00)

佐藤：はいそうです。

笹崎：もう一つ頂いているのがM B I コンサルティング株式会社ということなんですけれども、

本田：はい。

笹崎：あの一、お仕事内容について伺いたいんですが。

本田：はい。

笹崎：I Tコーディネーターというのは、まあ、ざっくり言いましてどういった支援をなさるお仕事な  
んですか？

本田：そうですね、I Tコーディネーターっていう資格ができてもう 15、6 年経つんですけれども、

笹崎：はい。

本田：まだまだですね、知らない人とかあるいは誤解してる方も、

笹崎：誤解??

本田：そうですね、私 10 年くらい前に独立したんですけれども、その時 I T コーディネーターという資  
格を話しても、何する方ですか？ってやっぱりいらっしゃったんですね。んで、パソコン直して  
くれるとか。

(笑い声)

本田：そういう方がいたんですけれども、

笹崎：はい。

本田：簡単に言うとですね、I T、要はコンピューターとかと後は経営ですね。経営をうまく結びつけ  
るための専門家だと思っていただければいいかなと思います。

笹崎：じゃあ、導入のためのアドバイスみたいなことなんかもなさるんですか？

本田：そうですね、はい。

笹崎：具体例でいうと、例えばある会社さんがいらっしゃって一番多い検討している内容ってどんなこ  
となんでしょうか？

本田：えーっと、そうですね、私の場合で言うと、今宮城県庁様に供給させていただいて、県のコンサル  
ティングをしてるんですよ。

笹崎：はい。

本田：で、県の場合は情報システムっていうのが 200 くらいあるんですけれども、その調達、要は導入  
時にこのシステムがどういう風な機能を持っていたらいいとか、

笹崎：はい。

本田：あるいは見積もりですね、ベンダーさんから見積もりを精査したり、あるいはその提案内容を審  
査したりっていう様なことが多いんですよ。

笹崎：そういうプロって必要ですよやっぱり。

本田：そうですねえ、やっぱりこうベンダーさんの言われるがままに導入して、うまく使えないとか、  
あるいはこう、必要以上に機能を盛り込んでしまって高くなってしまったりっていう場合がよく  
ありますので、

笹崎：はい。

本田：そういう時はやっぱり、プロフェッショナルに頼んだ方がいいのではないかと思いますね。

笹崎：そうですね、プロの方は鼻が利くっていうか。

本田：そうですね、

(05:00)

笹崎：これは高すぎるんじゃないかとか、余計な機能なんじゃないかとか、やっぱり見積書なんかみてるところ、匂ってくるものがあるわけですよね。

本田：そうですねえ、ま、逆の部分もあるんですけど。

笹崎：逆？

本田：はい、要はよく言われるんですけどもベンダーさんの見積もりが高いことも当然あるんですけども、やっぱり購入する側としては安くしたいわけじゃないですか？

(笑い声)

本田：安い方がいいんですけども、必要以上に安くたたくと、機能が絞り込まれすぎたり、品質が落ちたりするってことで。

笹崎：ああ、そうですか。

本田：必要な機能に対して必要なお金は払ってくださいっていうことも逆に言うので。

笹崎：要は適正かどうかってことですね。

本田：そうですね。

笹崎：民間の企業さんの支援もされるんですか？

本田：そうですね、最近はですねあんまりしてなくて、研修とかがやっぱり多いんですけども、民間の場合は、

笹崎：研修？

本田：私はですけども、はい。同じような仕事をしている方はやっぱり民間がどっちかというイメージですね。

笹崎：例えば研修ってどういった研修なんですか？

本田：やっぱりそういった調達の研修だったり、多いのはセキュリティとかの研修が多いですね最近だと。

笹崎：セキュリティ。

本田：情報セキュリティですね。

笹崎：はあ～、なるほど～。

本田：はい、あとは最近のトピック的なもので言うと、マイナンバーだったり。

笹崎：はいはい。

本田：そういったものがやっぱり多くなってきますね。

笹崎：そうですかあ、マイナンバーなんか大変だったんじゃないですか？

本田：そうですね、まだこれから大変になるかと。

笹崎：これからなんだ。

本田：もう、導入されてるところも多いんですけども、やっぱり一番これから年末にかけてがまず最初のピークなんじゃないかな？

笹崎：そうかそうか。

本田：まだまだ導入してどう使っているかわからないっていう会社さんが多いと思うので、それが年末に年末調整だったりとか、

笹崎：どっと。

本田：どっとくるんじゃないでんですかね。

笹崎：どう使っていいかわからない中身ってどういうことなんですか？

本田：そうですね、やっぱりセキュリティ的にどういう風に、マイナンバーだったらマイナンバーを取り扱っていったらいいのかとか。

笹崎：ああ、そっか、個人の数字の扱い方みたいな感じでしょうかね。

(07:00)

本田：そうですね、もちろん法律的にも決まってはいるんですけども、実際それをどういう風に取り扱っていったり、管轄して行ったらいいのかっていうことはまだまだよく分かってらっしゃらない会社さんが多くてですね。

笹崎：そうですね、私も仕事先でねマイナンバーが入ってから、あのーマイナンバーを持ってきてくださいと言うので持ってった、で、その場で「はい」ってやったら受け取れないんですって言われて。

本田：そうですね。

笹崎：そこで頂いたのがなんか返信用封筒じゃないですけども、これに入れて送ってくださいっていう。なので私は担当者の方に渡せばいいかとばかり思っていたんですけども実際は返信用封筒を受け取りに来てくださいっていう連絡だったんですよ。

本田：うんうん。

笹崎：だから、ああ、そうなんだ今段々変わってきてるんだなと思いますよねえ。

本田：はい、今お話ししてわかるように今コンピュータの話って出てないじゃないじゃないですか？

笹崎：出てない、そうですね。

本田：要は使い方そのものっていうことをきちんと分かっていないと、ITってうまく使えないので、その生き通関したコンサルティングっていうのがITコーディネーターの仕事なんですね。

笹崎：なるほどお、確かにそうですが、本田さん、どうしてマイナンバーをそうお詳しくなったんですか？

本田：いや、マイナンバーはですはね、もちろんその情報システムを使わないとなかなか取り扱い難しいってところもありますし、あのー、私も今持ってる資格のITコーディネーター協会っていうところでも、

マイナンバーをきちんと取り扱っていかうってことで、やっぱり研修をやってるんですね。それは我々の様なITコーディネーターだけではなくて弁護士さんだったり、税理士さんだったりあるいは社労士さんだったり、っていう方々が集まってやっぱり研修を作ってるんですよ

笹崎：ん～。

本田：で、先ほど話にも出たみちのくIT系支援センターもまさにそういう様な、各部門、各分野にですね、強い専門家が集まって、お客様のためにほんとに役に立つ仕事をしていかうってことで今やってます。

笹崎：ん～、そうするとプロ集団ですよ。

本田：そうですね。

笹崎：プロの集まり、プロですね。

佐藤：一応私もプロですよ。

ふふふ (笑い声)

笹崎：そうですね、なるほど。セキュリティーとかマイナンバーとか。

本田：そうですね。

(09:00)

笹崎：他に何か最近の傾向としてご相談の多い件ってというのはありますか？

本田：そうですねえ、最近相談が特に多いということではないんですけども、トピック的なことで言うとやっぱり、データ分析なんかは、あの、ビッグデータとかは。

笹崎：はい。

本田：あるいはですね、えーっと、キーワードとしてはIOTっていうお話が我々の間ではよく話が出ます。

笹崎：IOT、ラジオをお聞きの皆さんに簡単に解説していただいてもよろしいですか？

本田：IOTってやっぱりよくわからない言葉ではあるんですけども。

要は、えーっと、いん、なんでしたっけ？

ふふふ (笑い声)

本田：物のインターネットというような感じで、要は昔ですね、昔っていうかちょっと前にユビキタスって言葉がはやったことがありましたけれども。

笹崎：ありましたねえ、はい。

本田：要はいろんな機械、例えばセンサーだったりそういったものがありますよね。

笹崎：はい。

本田：そういったものとインターネットをつないで、色んな物がインターネットにつながることで、これからまさに便利な世の中にもっとしていこうっていう、そういう動きだと思っていただけたらいいかなと思います。

笹崎：それがIOTっていうんですか？

本田：そうですね。

笹崎：そうそう、私今年の5月にね、うちの電力メーターもスマートメーターになりまして。

佐藤：すごいなあ。

笹崎：うちほら、古いから、たぶん今交換時期なんですけれども、昨年からね交換期限が来た人はスマートメーターっていう次世代メータに今なってるんですけど、

本田：はいはい。

笹崎：それって電気の使用量を電力会社に送るんですよ、30分に一回ね。

本田：うんうん。

笹崎：で、契約すればアビールートっていうサービスがありまして、それは電力会社から今度フィードバックもしてくれると、そうすると、今まではその電力の使用量なんて検診の人が来て一か月にいっぺんこのぐらいって知るだけだったのが30分に一回ほぼリアルタイムでお互いにデータのやり取りができるわけですよ。

本田：はいはい。

笹崎：ま、そんな風に世の中って一つのデータをデータで終わらせるんじゃなくって、いろんな使い方とかになっていくんじゃないかなって。そういうことを思うんですよ。

(11:00)

本田：そうですね。

笹崎：ま、事業なんかもそういうことですよ。

本田：そうですね。

笹崎：うんうん、なるほどお。なかなかおもしろいですよね、私もそういう分野の話が好きなので。

わははは（笑い声）

笹崎：ま、後半も詳しく教えていただこうと思うんですけどもこの辺でね、一息つく意味で曲をおかけしたいと思います。

えー、本日の本田秀行さんのリクエストということで、高橋真理子さんなんですが、

本田：はい。

笹崎：曲はフォーユーなんですけれども好きな曲ですか？

本田：そうですね、歌うまい方が好きなので。

ふふふ（笑い声）

笹崎：え、うまければだれでも OK みたいな？

本田：そうですね、うまい人であれば比較的ジャンルこだわらず好きですねえ。

笹崎：そうなんですかー。どっちかというバラードとかが好きですか？

本田：いや、別、うるさいのが好きですね。

笹崎：そうなんだ、うまければ OK みたいな。

本田：そうですね、はい。

笹崎：分かりました、じゃ、今日はねしっかりと聞いてみたいと思います。

本田：はい。

笹崎：はい、曲は高橋真理子さんの 1982 年 3 月、ここに 3 月って書いてあるんですけど、昭和 57 年の曲です。フォーユーです

（11：55）

～曲♪

（12：05）

笹崎：はい、お送りした曲は高橋真理子さんのフォーユー、1982 年のヒット曲でした。タタ君何持ってるんですか？

佐藤：えー、携帯カメラでございます。あの一、よくテレビでアイカメラって言って、

笹崎：よくテーブルの上でお料理とかをアップで写したりする用の

佐藤：そうそうそう

笹崎：今日はねミキサー兼撮影担当でもあるコムズの西山さんが持ってきてくださったんですよ。ちょっとこれ写してみますか？

佐藤：いや、でも僕見られないんですよこれ。

笹崎：適当に。

佐藤：うん、ほいって動かすのね。

笹崎：うん、こうやって。

佐藤：はいー、やってくださーい。

笹崎：本田さんにかお話しして。

（笑い声）

本田：えー、カメラが目の前にあります、ちくわみたいな形してます

佐藤：そーですね、ちくわですね。

笹崎：ほんとにこれで撮れるんでしょうか

佐藤：西山さん撮ってみたらいいじゃないですか

?: お、〇〇やってるぞー

笹崎: コムズの西山社長です。はい、本田さんです。

本田: はい。

笹崎: ちゃんと映ってればいいですね。

本田: そうですね、はい。

笹崎: 新しい機材なのでなれないんですけども、後半行ってみますか？

佐藤: はい。

笹崎: はい、ではお願いします。えーさっきセンサーの話とゆうことが出てですね、

あの、農業分野でもセンサーってゆう話でちょっとピンと来なかったんですけども、どんな使われ方なんですか？

本田: ええ、そうですね、いろいろとデーターって農業の分野でも出てて、例えば日照時間とか温度だったりするってのはすぐ分かると思うんですけども、

笹崎: はい。

本田: 例えばハウスだと二酸化炭素の濃度だったり、あるいは土の酸性度だったり、まそういったいたいろんなデータがありますよね。

笹崎: はい。

本田: で、今までの農業、農家さんの経験のある方に頼っていたその感でやっていた部分が

笹崎: ああ〜。

本田: データーに蓄積されてどうゆうときにこう収穫量上がるかとそういったことの分野についても  
追及されてるみたいですね。

笹崎: じゃあ、計測器があって。

本田: そうですね。

笹崎: それをなんか通信の仕組みを使ってどっかに送るわけですよね。

本田: そうですね、はい。

笹崎: で分析をしてってことなんですけど、それはすごい復旧してるんですかもうすでに？

(14:00)

本田: いや、なかなかですね機械も高いので

(笑い声)

笹崎: そうなんですね、そのセンサーが高いんですね。

本田: センサーも高いですしシステム自体もけっこう高かったりするのです。

佐藤: まだ高いんだあ

本田: いろんなベンダーさんがそれを安くするっていうので自治体とか行政のほうに。

笹崎: あ、売り込みに。

本田: 売り込みに行ったりしてますけどね。

佐藤: なるほどねえ。

笹崎: じゃあ、実際でも欲しいなって、これは役に立つなってシステムもあるわけでしょう？

本田: そうですね。

笹崎: 特徴ってそこはあまりやらないところってさっきおっしゃいましたっけ？

本田: そうですね、私自身はやらないんですけども。

笹崎：ただ、かかわりはちょっとあると。

本田：そうですね、先ほど助成金って話をしましたけれども、助成金の審査なんかも私したりすることがあるので。

笹崎：おお、

本田：そういう提案書だったりっていったものは見たりする機会はあったりしますね

笹崎：なるほど、やっぱり違いって出るもんですか？

本田：そうですね、結構出たりもしますね、でも、やっぱり中小企業向けっていうものの審査が多いので、やっぱりコストはなるべく落とそうっていう会社さんが多いですね。

笹崎：じゃあいろいろこう最新のところにかかわってるという。

本田：そうですね、いろんなところに関わらせてもらってるってので非常に面白い仕事ですね。

笹崎：話し面白いですもんね。

佐藤：そうですね、はい

笹崎：で、ところでITコーディネーターって今でも取れる資格なんですか？

本田：もちろん、私もITコーディネーターの研修のインストラクターもやっていて、大体年に2回くらいケース研修っていうのやるんですね

笹崎：はい。

本田：で、今度も12月くらいからですかね仙台では、研修をやることになってます。

笹崎：ん～、どんな人たちが来るんですか？

本田：いろんな方が来ますよ、でもやっぱり多いのはですねITベンダーの方が多いんですけども、もちろんそのほかにもですね、税理士さんだったり、もともとコンサルをやってる中小企業診断士だったりそういう方が多いですね。

(16:00)

笹崎：もうね、好きで興味がないと来ないですよ？

本田：うん、まあ、そうですね、ただんふふ(笑い声)

笹崎：同じ社労士さんとかね、その、いろんなね専門かがいてもそういうの全くダメっていう人も中にはいらっしゃるじゃないですか？

でも、そういうの得意っていう人はやっぱり一つ資格としてねあった方がいいのかなって。

本田：そうですね。

笹崎：ちなみにどうして目指されたんですか？

本田：わたしはもともとですね、SEをやっています。で、やっぱりもの作りしていくってだけではなくて、より、上流のほうだったり、あるいはお客様と直接つながっていきたくなって感じて、コンサルっていうことをかんがえたんですね。その中でITコーディネーターって資格が作られたってことで、これはいいなっていうことで取ったんですね。

笹崎：ああそうなんですか、とるとやっぱり違いますか？

本田：そうですね、まあもちろん人にもよりますが資格だけで食べていけるわけではないので(笑い声)

本田：ただ、その考え方自体は非常に役に立ってます。

笹崎：ふ～ん、興味あるんですけども、実際研修ではどういったことを試験とかもある？

本田：試験もありますね。



笹崎：難しいとか？

本田：試験そんなに難しくありませんね。

笹崎：そうなんですか？

佐藤：人によりけりかもよ

(笑い声)

笹崎：かもしれないけどね

本田：5割くらいは受かるんで。

笹崎：教わる内容っていうのは？

本田：研修の中では、一応ケース研修ってことでお客様が抱えている課題をシュミレータ的なロールプレイ的にやっていくんですね。こういう課題を抱えているお客様がいるんでどういう戦略を立てて行って最終的にどういったシステムを入れていくかっていうのをやっていきます。

笹崎：え〜、なんか難しそうですねやっぱり。

本田：んー、難しいと思う方もいるんですけども、非常に面白い研修だと思いますね。

佐藤：うん、面白い。

笹崎：ベースは・・・え？あれ？

佐藤：僕は教えてたもん、プロジェクトマネジメント系で僕はそういうの教えてたんで

笹崎：あれ、あれ？好彦さんもしかしてITコーディネーターですか？

佐藤：いえいえ、僕は取ってません。でもSEの、

笹崎：プロジェクトマネジメントはやってるんですね

佐藤：やったり、あと職場のSEもやってたので、実は。変な人なんです。

笹崎：自ら変な人っていうんですか？

佐藤：はい(笑)

(18:00)

笹崎：だったらほんとに経営に関わる感じがやっぱりしてきますよね。

本田：そうですねえ、事業戦略のところからやっていって、先ほど佐藤さんがおっしゃっていたプロジェクトマネジメントもその一部として入ってますね。

佐藤：入ってるんですよ。

笹崎：必須科目なんですか？

本田・佐藤：必須です。

笹崎：それも学ぶと？

本田：そうなりますね。

笹崎：経営とITとってところでそう考えると、パソコン直すのとは全然違いますよね。

本田：そうそう、そうなんですよ、むしろそういった現場のほうにはあまり出ないので。

笹崎：はい、物いじったりとかそういう感じではないですよ。

本田：そうですね。

笹崎：でも今でもあまり知らない方はいらっしゃるわけでしょう？

本田：そうですねー、以前に比べればだいぶ知ってもらえるようになってるんですけども。

笹崎：じゃあ・・・

佐藤：なんかほら、外国でもITコーディネーターって資格持ってるってだけで結構

本田：あ、そうですね、特にアジア系の方では、まず日本のプロフェッショナルの資格ってことでま、

それだけでかなり信用は得てるみたいで、海外の方で頑張ってるITコーディネーターもいらっしやるみたいですね。

笹崎：それは日本で受けてってことですか？

本田：日本でももちろん受けてですね。

笹崎：受けて、それを持ち帰ってお国で生かすという感じですか？

本田：あいや、てうかですね、日本人の方が海外に出てって感じですね。

笹崎：ああ。そういうことね。

佐藤：海外のプロジェクトに従事するときにITコーディネーターの資格がありますよっていうと一目置かれるっていう。

本田：そうですね、そういう感じですね。

笹崎：主催している団体さんっていうのはどちらになるんですか？

本田：東京の方でITコーディネーター協会っていうのがあって。

笹崎：ふんふん、それはホームページとかでも出てくるんですよね

本田：もちろん出てきますね。

笹崎：へえ～、前からねえ、ITコーディネーターってなんだろうなあって。

本田：じゃあ、ぜひ取ってください。

(笑い声)

佐藤：そうだねえ～、取る？

笹崎：取れないよ～。

佐藤：取れる取れる～。

本田：取れると思いますよ。

笹崎：そうでなんですか？研修期間ってそのくらいなんですか？

本田：研修期間は全部です、6日間です。

笹崎：6日間。

本田：以前よりだいぶ短くなったんですけども、足掛けで3か月、2か月半くらいですかね。

本田：2週間に1回くらいの感じです。

笹崎：そうなんだ。

本田：はい。

笹崎：毎週土曜とか、日曜とか？

(20:00)

本田：2週間開けて土日みたいな感じでやりますね。

笹崎：ちなみにお値段なんか聞いても大丈夫ですか？

本田：お値段は今、20万円プラス消費税くらいですかね。

笹崎：消費税ですね。

佐藤：だいぶ安くなったねえ。

本田：そうですね安くなりましたね。

笹崎：え？じゃ、昔はもっと高かったの？

本田：私取ったときは研修15日間で50万円でしたねえ。

笹崎：えーすごい、コーチングと一緒にくらいですよええ。

佐藤：そ、コーチングと同じ値段。

笹崎：ふ～ん、やっぱりあれですかね、沢山の人の受けていただいて、

本田：そうですね。

笹崎：もうちょっとこう、推進したいっていうなにかこう思惑とかがあるのかしらね？

本田：推進したいっていうのは当然あって、資格を取ってもらってよりも、その資格で教えているそういった知識をより地元の企業さんとかに広げていきたいっていう思いはあって、それで、私の会社だけでなくさっきもちょっとお話しした、社団法人なんかも作って連携しながらやってるっていう感じですね

笹崎：なるほどねえ、やっぱりその、すごく大事だと思うんでうよね、仕組みを使うっていうのはね。中にはちっちゃい会社さんとかはそういうこと以前に。

本田：そうですね。

笹崎：そういうこと以前に、メールできないとかっていうレベルで止まってる会社さんって結構おおいじゃないですか？やっぱり、そういう方も対象になるんですか？

本田：もちろん対象にはなりますね。

笹崎：どういったご提案からしますか？

本田：それは、ほんとにコンピューター使いたいっていうのであればそういった提案からなんですけれどもまずは、人のスキルアップしましょうってところからですね。

笹崎：そうですねえ、うんうん、わかります。私もいろんなコーチングとか頼まれたりとか、人材育成に関わると最終的に、そのメールのやり方がわからないとか、というところに帰結することが結構多いんですよ。そうするとね、すごい社長さんが苦手だとか、知ってる方が社内にも一人もないとか、後は教えてくれないとか、事務系は強いんですよ結構。事務の女の人とかはねえ、やっぱり毎日いじってるからそこそこできるんだけど、そのスキルがね営業とか外回りの人に全然伝わらないっていうケースがあって、もう、ま、今日はちょっとお話ししないんだけど面白い話が満載ですよ。

(笑い声)

(22:15)

笹崎：辞書登録とかしないでね毎回手打ちしてるとかね。

本田：うんうん。

笹崎：あと、返信とかわかんないとかシグネチャメールにシグネチャを付けたことないだとか。

本田：はいはい。

笹崎：だから、すごいこうね、上のレベルの皆さんから、下っていうと失礼なんですけれども、まだ使いこなすっていうところのレベルまで。

本田：うんうん。

笹崎：民間の企業さんってバラエティに富むんじゃないかなって思うんですよええ、いかがですか？

本田：そうだと思います。まえ、独立する前におっきい会社にいたんですけれども、大きい会社だとやっぱり大きい会社が相手になることが多いじゃないですか？

笹崎：うんうん。

本田：その中でちょっと事業を変えてちょっと地元の中小企業にいったこともあるんですよ。

笹崎：ええ、ええ。

本田：そのあとやっぱりメールの書き方がよくわからないだとか、先ほどのセキュリティの話で言うと、CCに全部入れてしまって。

笹崎：あ、はい。

本田：メールアドレスが全部漏れてしまったとか。

笹崎：他の人のねほかの会社とかねえ。

本田：そういったようなことも、我々だったらもう普通にそんなことしないだろうって思ってるようなことを普通にしてしまうってことで文化の違いとか、スキルの違いとか感じたことはありますね。

笹崎：そうですねえ、普通にパソコンのここに、パスワード貼ってあったりしますよねえ。

本田：そうですねえ。

笹崎：いの？これ？っていうね。いや、貼っとかないと忘れるからっていうのは前の会社にプロバイダがあったので NG だなと思いがらね。

本田：うん

笹崎：ま、そんなところでね、本田さんのお仕事なんですけれどもほかにですね持ってらっしゃる資格としては、総務省地域情報化アドバイザー。

本田：あ、それ資格じゃないです。

笹崎：あ、資格じゃないですか？

本田：今の立場ですね。

笹崎：あ、すみません、申し訳ございません。

本田：総務省からのそういう委託をうけてます。

笹崎：その下ですね総合セキュリティーアドミニストレーター、こちらは資格ですか？

本田：はい。

笹崎：これもやっぱりセキュリティに関するお話ということで。

本田：はい、そうですね。

笹崎：なるほどね、沢山の企業さんがねやっぱりね本田さんの力で、こう I O T ですか？

本田：はい。

笹崎：そういったものをですね、仕事に生かせるようになったらいいなと思うんですけれども。今日は本当にありがとうございます。

本田：ありがとうございました。

笹崎：お話してみてもいかがでしたでしょうか？

本田：いろいろたのしかったですね。

笹崎：あ、こちらも、もっともっといっぱい聞きたいですね。

本田：そうですね。

笹崎：なんかお二人は二次会があるっていうことなんですけれども。

(笑い声)

笹崎：はい、今日はどうもありがとうございます。

本田：どうも、ありがとうございました。

笹崎：来週は9月22日は藤井洋平さんということですね。

佐藤：そうですね、はい。

笹崎：藤井洋平さんのお話を伺おうと思います。皆さん本日どうもありがとうございました  
また来週をお楽しみに。